

50年前、九州王朝説を提唱した古田武彦に反論できずにいた近畿天皇系一元説の定説派学者は、古田が『東日流外三郡誌』の真偽を含めて検証するとしたことから、「偽書」を研究するとは学者の風上にも置けないと、よってたかたか氏を認め、九州王朝説を葬ろうとしてきた。今ここに、『東日流外三郡誌』(和田家文書)も含む歴史史料としての史料性格、史料価値を追求してきた編者、古賀達也による『東日流三郡誌の逆襲』を一連の『和田家文書』を出版した八幡書店から近々に刊行される。

出版社社長、武田孝元と古賀の対談も博覧強記で読み応えがある。同文書から珠玉の史料を抽出・検証し中尊寺・天台寺の歴史など、また寛政年間(鎖国時代)に秋田孝季らによるヨーロッパ巡遊など驚きの知見を共有し、改めて『東日流三郡誌(和田家文書)』の重要性を実感していただければ、と思う次第です。

古田武彦と古代史を学ぶ会 安彦克己

全24巻(440頁)からなる大部の著作です。価格は3600円+税=3960円
— 8月中旬に発売されました。皆様ぜひ購入してご一読下さい。 —



発売 八幡書店

『東日流外三郡誌の逆襲』の構成

●まえがき

『東日流外三郡誌』を学問のステージへ 古田史学の会 代表 古賀達也
和田家文書研究のすすめ 古田武彦と古代史を研究する会 会長 安彦克己
『東日流外三郡誌の逆襲』の刊行に寄せて 古田史学の会・仙台 原廣通

●目次

●プロローグ

第一章東日流の新時代を迎えて 弘前市議会議員 石岡千鶴子

第二章和田家文書を伝えた人々 秋田孝季集史研究会・会長 竹田祐子

●第一部真実を語る人々

第三章『東日流外三郡誌』真作の証明 —「寛政宝剣断」の発見— 古賀達也

第四章真実を語る人々 古賀達也

●第二部偽作説への反証

第五章知的犯罪の構造 —偽作論者の手口をめぐって— 古賀達也

第六章実在した「東日流外三郡誌」編者 —和田長三郎古次の復讐— 古賀達也

第七章伏せられた「座敷金」記事 —「東日流外三郡誌」賭木の異同— 古賀達也

第八章「和田家文書」に使用された和紙 古賀達也

第九章「和田家文書」複製の真相付:仙台寛政への陳述書2通 古賀達也

第十章考古学が立証する「東日流外三郡誌」の偽びょう悟 —令和の「和田家文書」調査— 古賀達也

第十一章新・偽書論「和田家文書」偽作論争の深層 日野智貴

●第三部資料と遺物

第十二章石塔山レポート封印された遺跡と不可解な痕跡 秋田孝季集史研究会

第十三章役の小角史料「銅板誌」の紹介 古賀達也

第十四章和田家文書の戦後史 古賀達也

第十五章和田家文書デジタルアーカイブへの招待 藤田隆一

●第四部和田家文書から見える世界

第十六章宮沢道雄は中央政庁跡 安彦克己

第十七章二戸天台寺の前身寺院「浄法寺」 安彦克己

第十八章中尊寺の前身寺院「仏頂寺」 安彦克己

第十九章「和田家文書」から「日蓮聖人の母」を探る 安彦克己

第二十章浅草キリシタン療養所の所在地 安彦克己

第二十一章浄土宗の「和田家文書」批判を礼す —金光上人の入寂日を通して— 安彦克己

第二十二章大神神社の三つ鳥居の由来 秋田孝季集史研究会事務局長 玉川真

第二十三章田沼意次と秋田孝季in「和田家文書」その1 菅川恵子

第二十四章秋田孝季の家系図研究 富川ケイ子

●特別対談『東日流外三郡誌』の逆襲 八幡書店社長武田孝元・古賀達也

●謝辞に代えて —異界を彷徨う魂たちへ— 古賀達也

●執筆者プロフィール